

## 2年保健体育 (MYP3 Physical & health education) 【保健体育：3単位】

### 教科のねらい

MYPの「保健体育」のねらいは、生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・ 探究的手法を使って、保健体育の概念について探究すること
- ・ 様々な状況に効果的に参加すること
- ・ 身体活動（運動）の価値を理解すること
- ・ 健康的なライフスタイル（生活）を実現し、維持すること
- ・ 効果的に他者と協働し、コミュニケーションを図ること
- ・ 他者と建設的・肯定的な人間関係を構築し、社会的責任を行動で示すこと
- ・ 自身の学習経験を振り返ること

### 目標と評価基準

評価基準	目 標
A：知識と理解	・ 「保健体育」に関する、事実に、手続き的、概念的知識を詳しく述べること
	・ なじみのある、あるいはなじみのない状況における問題について説明し、解決するために、「保健体育」に関する知識を応用すること
	・ 理解を伝えるために、「保健体育」の専門用語を効果的に応用すること
B：パフォーマンスの計画	・ パフォーマンスの改善に向けた目標を簡単に述べること
	・ 身体能力と健康を改善するための計画を設計し、説明すること
C：応用と実践	・ 幅広いスキルや技術を示し、応用すること
	・ 幅広い戦略や動きの概念を示し、応用すること
	・ 効果的なパフォーマンスに必要な情報を簡単に述べ、応用すること
D：パフォーマンスや競技の振り返りと改善	・ 対人スキルを強化するための方法を詳しく述べ、示すこと
	・ 計画の有効性を、その成果に基づき説明すること
	・ パフォーマンスについて説明し、評価すること

※「ねらい」・「目標」はIBO「Physical and health education guide」より。「目標と評価基準」はMYP保健体育3を使用。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念について考えます）

適応	バランス	選択	エネルギー
環境	機能	相互作用	動作
ものの見方	改良	空間	システム

### 年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価基準（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月)	1	1. Development(発展) 2 Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーションスキル、批判的思考スキル、振り返りスキル	A. 体づくりの運動 (ア. 体ほぐしの運動、イ. 体力を高める運動)  ラジオ体操ではグループで体操の目的を理解し実践する。新体力テストは方法を理解し計測する。	「ブックレット」ラジオ体操を行うことでほぐれる体の部位を探究し、運動が及ぼす体への効果を検証する。【A】 「ブックレット」自己のパフォーマンスを評価し、本番までの準備について振り返る。【D】	1. ①知識・技能-A ③学びに向かう力-D 2. C-15

前期 (5月)	2	1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーション・批判的思考・協働・振り返り	C. 陸上競技 (ア. 持久走)	「ブックレット」持久走のより良いパフォーマンスを上げるため、自己の目標設定、記録測定、VTR撮影を行いながら計画を行う。【B】	1. ②思考・判断・表現-B 2. A-4
前期 後期 (6月～12月) ※各チーム毎にローテーションしながら実施	3	1. Change(変化) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・創造的思考スキル	E. 球技 (ア. アルティメット)	「ブックレット」チームメンバーと連携をとりながら、よりよいパフォーマンスを上げるための計画を行う。【B】 「ブックレット」チームとしてのパフォーマンスを評価し、それに基づき計画や行動の仕方を再設計する。【D】	1. ②思考・判断・表現-B ③学びに向かう力-D 2. A-5
	4	1. Relationships(関係) 2. 個人的・文化的表現 Personal and culture expression 3. コミュニケーション、情動、批判的思考	G. ダンス (ウ. チアダンス)	「ブックレット」効果的な目標を設定し、意味ある活動になる計画を立てる。【B】 「実技テスト」テーマにふさわしい作品をつくり、まとめ、表現する。【C】	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-B 2. A-6
	5	1. Relationships(関係) 2. 個人的表現と文化的表現 (personal and culture expression ) 3. 情報リテラシー、批判的思考、協働	F. 武道 (ア. 柔道)	「スライド」自己や相手の身を守る方法を知り、立ち技のスライドを作成する。【C】 「ブックレット」自己のスライドとパフォーマンスを評価する。【D】	1. ①知識・技能-C ③学びに向かう力-D 2. B-7
後期 (12月)	6	1. Reationships(関係) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・振り返りスキル	E. 球技 (ア. バスケットボール・バレーボール)	「formテスト」授業で得た知識をいろいろな形式で表現し、学んだ知識をformテストでアウトプットする。【A】	1. ①知識・技能-A 2. C-12
後期 (2月)	Un it 外	1. Relationships(関係) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル	E. 球技 (イ. 卓球、バドミントン)		
通年	7	1. Relationships (関係性) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係性) 3. コミュニケーション・情動・メディアリテラシー	H. 保健・体育理論	評価規準 A (個人・グループ) 運動やスポーツの行い方の知識を学び理解する 評価規準 A (個人・グループ) 心身の機能の発達と心の健康を自分と他者のこととしてとらえ、思考し、理解を深める。【A】  「筆記テスト」保健で得た知識をいろいろな形式で表現し、学んだ知識を筆記テストでアウトプットする。【A】	1. ①知識・技能-A C-12